

第4回函館市町会活性化検討会議 議事録

○開催日時：令和2年9月29日（火） 10：00～12：00

○開催場所：函館市役所本庁舎8階大会議室

○出席者

委員： 櫻坂委員，形部委員，神田委員，菊池委員，酒井委員，
佐藤委員，竹内委員，常野委員，永澤委員，中山委員，
西谷委員，浜田委員，平形委員，森田委員，若林委員

オブザーバー： 函館市町会連合会 中村事務局長

函館市教育委員会学校教育部 菊池学校教育指導監

（代理 函館市教育委員会 学校再編・地域連携課 佐藤課長）

事務局： 市民部 佐藤部長，横川次長，米田市民・男女共同参画課長
小林主査，奥ヶ谷主査，播磨主事

.....

第4回函館市町会活性化検討会議 次第

1 開 会

2 報 告

（1）第3回検討会議の確認について

3 議 事

（1）具体の取り組み（手法）の検討について

4 その他

5 閉会

..... 1 開 会

（事務局 小林主査）

それでは、定刻となりましたので、ただいまから第4回函館市町会活性化検討会議を開催いたします。前回に引き続き、司会を務めさせていただきます事務局の小林です。よろしくお願いいたします。この会議につきましては、原則公開で行っております。

また、終了時刻を12時頃と予定しておりますので、議事の進行に、ご協力をよろしくお願いいたします。

本日の会議の出席数ですが、委員18人中15名の出席、オブザーバー2名の出席をご報告いたします。

なお、本日は、事前にご案内のとおりグループワークでの検討を予定しております。時間の都合上、あらかじめ事務局で、グループ分けを行っておりますので、よろしくお願いいたします。

..... 資 料 確 認

まず始めに、資料の確認をさせていただきます。

お手元には、資料1「取り組みの方向性について」、資料2「具体の取り組み（手法）について」資料3「グループワークの進め方」、また、各テーブルに作業用の模造紙を2枚ずつ配付しております。

お手元の資料に不足は、ございませんでしょうか？

特になければ、ここからの進行は、菊池座長にお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

..... 2 報 告

(菊池座長)

早速ですが、「次第の2 報告」に入りたいと思います。

「第3回検討会議の確認について」ですが、

先の会議では、4つの取り組みの方向性が示され、説明を受けた後、検討を行ったところでもあります。

前回の会議でその取り組みの方向性について「魅力あふれる活動づくりやそのアピールの仕方といった観点などを加える必要があるのではないか」といったご意見がありましたので、変更点などについて事務局から説明をお願いします。

(事務局 米田市民・男女共同参画課長)

お手元の資料1「取り組みの方向性について」をご覧ください。

前回の検討会議でいただいたご意見で、取り組みの方向性について「町会自体の魅力をどう上げるか、どうアピールするかという観点が必要」というご意見がありました。

市といたしましても、町会の魅力づくりに取り組むことは、活性化そのものにつながるため、取り組みの方向性のうち「加入しやすい町会づくり」について、より積極的なイメージとなる「魅力ある町会づくり」と改めることとしたいと考えております。

また、市といたしましては、この検討会議での意見を踏まえ、出来ることからスピード感をもって、施策に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

..... 3 議 事

(菊池座長)

それでは、次に、「次第の3 議事(1) 具体の取り組み（手法）の検討について」事務局から説明をお願いします。

【事務局 小林主査よりグループワークの進め方について説明】

(事務局 小林主査)

それでは、各グループの進行をしていただくファシリテーター役をご紹介します。

A グループは、菊池座長にお願いします。

B グループは、町会連合会の中村事務局長にお願いします。

C グループは、菊池オブザーバーの代理で来ていただきました、教育委員会 学校再編・地域連携課の佐藤課長にお願いします。

それでは、グループごとに作業を開始してください。

【グループワーク発表】

- ・ 情報発信するべく町会の必要性やメリットについて
- ・ 方向性(1)「自発的な参加の意識づくり」の具体的な取り組みについて

○B班 発表者：平形委員（書記：佐藤委員）

メンバー：永澤委員，西谷委員，平形委員，佐藤委員

ファシリテーター：町会連合会 中村オブザーバー

それでは、Bグループの意見をについて発表させていただきます。

我々のグループでは、それぞれの設問について、町会に対する必要性やメリット、理解促進など、具体的に4つ考えました。

まず、キーワードの1つとして、防犯です。防犯や防災が中心になると考えますので、例えば、まちの街灯の予算が大きな必要性があります。また、それぞれの町内会に配置されている青色パトロール車など、防犯の活動が町会としてまちに必要とされているところです。

もう1つが、地域の福祉です。高齢者を置き去りにしない活動として色々な居場所づくりなど、高齢者の見守りの観点から、町会にとって、地域の福祉が必要なのではないかということ。

次に環境整備です。例えば、まちのなかで、木が荒放題になっているところですか、こういう環境を良くしてほしいなど、町会が要望を市に提案する、問題提起する、そして改善してもらおうという活動や自分たちの環境活動として、たとえばクリーングリーン作戦ですとか、そういった、まち中を自分たちの手できれいにしようという環境整備において集まる拠点となるのが、町会としての必要性ではないかと考えました。

次に親睦活動です。夏祭りや、もち付きなど、子ども達に対しての親睦を深める。大人から子どもまで皆さんが集まって親睦を深めていくことで、絆を深め、見守りを含めた活動となるのではないかとということです。

これら防犯、地域福祉、環境整備、親睦活動が、町会に対するメリットや必要性ではないかと考えました。

また、情報発信の手法については、例えば、我々の班では、YouTube やネットでの情報発信の必要性はあるかと思いますが、直接的な声かけも必要であるということ。情報発信と

しては、紙媒体を使ったもの、たとえば新聞は、高齢者にとって必要なものであり、このような SNS 以外のものも実際には、非常に重要ではないかという意見がでました。

次に、実際に主体的な参加を促す仕組みづくりというところで、3つポイントがあげられました。

1つ目は、レクリエーションです。色々なサークル活動を実際に町会で実施してみる。気軽に参加できる取り組みを企画しようということです。

その中で、講演会となると時間が長時間になってしまいますので、講話など短い時間で終了するイベントなどを実施してみてもどうか。そして、大きなテーマではなく小さなテーマで参加しやすいイベントなどをレクリエーションとして企画する。

これは私たちの班では、珍しい意見かなと思ったのですが、オンライン町会イベントということで、今、実際にコロナ禍でオンラインが活用されていますが、こういった新しい取り組みを、子どもと学生と高齢者が集まって、企画してもらおうという意見がありました。

そして2つ目が、地域のキーパーソンの発掘。地域には色々な資格をもった人であったり、実際に何かをしてみたいという人がいると思います。そういう、町会の活動ができるキーパーソンを発掘することで、新たなレクリエーションの企画が可能になったり、利点に繋がっていくと考えました。

そういう市民の町会活動や実際に色々なイベントなどに気軽に参加できるような人材を探すとすると難しいところもありますが、人材バンクといった形で、希望する方に手をあげてもらったり、実際に情報収集をして、できる人材を町内で人材バンクとして確保することで色々なイベントを開催できるようになるのではないかと考えました。

そして3つ目が、外部に活動を発信するというのですが、これは、まちの魅力を自分の住んでいる町外に発信していくということです。具体的には、町内同士がちょっと競争するような形で、まちの魅力を、我がまち自慢とかそういったかたちで、まちの特色を1つ作り出すことで、そのまちのために皆さんが参加しているという一体感のある取り組みにしていこうということです。

また、その取り組みを、うまく新聞などで広報していくことで、まち全体が活性化していくような形にもっていくために、実際のまちの活動を外部に発信していくことを3点目にあげました。

まとまっていないところもありますが、以上でB班の発表を終わらせていただきます。

(事務局 小林主査)

ありがとうございました。

皆さんからこちらの発表に関して質問等あればお願いします。よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

では、Cグループに発表していただきます。

○C班 発表者：常野委員（書記：森田委員）

メンバー：酒井委員，中山委員，常野委員，櫻坂委員，森田委員

ファシリテーター：教育委員会学校再編・地域連携課 佐藤課長
（菊池オブザーバーの代理）

Cグループでは、話し合いの前に中山委員から問題提起があり、この、キーワードである町会の必要性・情報発信・参加というところを投げかける対象者、相手は誰なんだろうということになりました。

実は、興味・関心がある方は良いが、町会に入っていない方はそもそも関心がない方々であり、町会を必要と思っていないという危機感のある状況のなかでどう対応していくかという話を進めていきました。

まず、具体的には、町会の必要性やメリットに合わせて、そのままこれが情報伝達につながると思うのですが、B班の発表に似ているところもありますが、お話しさせていただきたいと思います。

まずは防犯です。治安の維持、学校の見守りや街路灯の維持管理、不審者から子どもを守る、地域の安全、非常時には防災というところで、たくさんの役割・活動を担ってくれている町会があるということも、未加入の方は興味がなく、知らない方もいる、ということです。

あわせて、コミュニケーション・つながりということが大事であって、時には相談したり、助け合いができる環境はあるが、それが十分伝わっていない、という意見がありました。

それをどう伝えるかというところですが、こちらのグループではハイブリッドという言葉が出まして、やはりこの時代ペーパーレスは必要だが、紙も需要があって、どちらもやっていく必要があるということでした。

また、対象者は町会の加入者以外の方にも必要だが、そこには経費の問題があり、町会だけでは解決できる問題ではないという話にもなりました。

町会の加入者向けだけではなく、楽しい情報であったり、町会のかかっている費用がどのように使われているかなど、そういったことも発信していく必要があるのではないかという話になりました。

続きまして、主体的な参加を促す仕組みづくりにつきましては、大きく分けて2つです。

こちらは、町会の会館の活用ということから話が広がりまして、地域によって差があるというのが第一です。そこで、加入者以外の参加を促したり、逆に、今、必要でないもの、不要なものを整理していく必要があるという話になりました。

また、活躍してくれる人材が不足しているという話もあるが、逆に、色々な役割を担いすぎて活動が膨れている町会は、不要な活動を整理していく。活動を増やすのではなくて、本当に必要なものだけを重点的にやっていく、ということも時には必要だろうという意見がありました。

また、イベント的なものを考えている時に、情報発信にも関わってくるという話になり、誰でも参加できる路肩などの清掃活動は、情報を発信して活動に参加してもらうのが当たり前ですが、活動したことを最後に情報発信することが大事との意見がありました。

イベントで情報発信につながる例として、色々な方に町会の川柳を募集し、その川柳を発信しますと、情報発信の参加から始まり、その参加した方の情報をまた発信するというようなことができるのではないかと、とても面白い意見が出ていました。

もう1つは、前回のこの会議でも話がありましたが、協力者には役割を持っていただくことが必要ではないかとの意見がありました。たとえば、若い方に町会の情報を発信していただく形で参加してもらい、それを情報発信につなげる。イコール、最初から若い方に町会活動に参加してもらおうことができるのではないかと話になりました。以上です。

(事務局 小林主査)

ありがとうございました。

Bに続き、発展的なご意見も多くいただいたということで、何か質問はありますでしょうか。では、Aグループの発表に進ませていただきます。

○A班 発表者：神田委員（書記：若林委員）

メンバー：浜田委員，形部委員，神田委員，竹内委員，若林委員

ファシリテーター：菊池座長

私たちのグループで最初に考えたのは、町会さんにはどういうメリットがあるのかを考えました。

多く出たのは防犯，防災です。

防犯になりますと、子ども達や地域の人達が安心して住むためには、不審者の情報だったり、不意に何かがあった時には、やはり地域の力が大事であるという話が出ました。町会では、防犯パトロールをされていたり、見守り活動をしてくださっているところがたくさんあり、そういうことは町会だから出来るんだという話になりました。

次に防災についてですが、東日本大震災や胆振東部地震などの災害時に、独居の方や単身・子育て世代の方は、やはり不安であったと思いますし、そういう時に、町会は、災害時の助け合いの場になるのではないかと考えております。

そして、地域連携として子ども達と地域の皆さん、高齢者の方や独居の方達がつながる、地域での連携をつくる事が出来るということがメリットになるのではないかと考えました。

その中で、町会でしかできないことが多くあったり、地域の子子ども達が生活する場であったり、そういうものを地域と共につくっていくのが大事になるのではないかと、メリットになるのではないかと意見も出ております。

特に、孤独な子育て世代の方というのもたくさんいらっしゃいますので、そういう方の助けをを求める場所になるのではないかと話もありました。

また、祭りなどで地域とのコミュニケーションを図るのはどうかという意見もありましたし、町会が学校の先生を紹介するお便りを出しているという話も出ておりました。

そのような情報をどう発信したら良いか調べた時に、地域にこういう町会があります、と

いったホームページの一覧が出るまとめサイトがあるようで、そのホームページをできれば町会連合会でつくったらどうかと考えました。各町会がホームページをつくり、その中で、たとえばお手紙をPDFにして貼り付けて、一生懸命つくってくださった内容を皆さんに見ていただくという場にするのはどうかという意見も出ましたし、様子を動画にして載せるというのも可能ではないかという意見も出ました。

メリットとしては、町会という大きな組織のなかで、函館市民の方に、私たちはこういうことがしたい、こういうことが大変だという思いを伝えることができるのではないかという意見も出ました。

その具体例としては、主体的な参加を促す仕組みづくりが必要だという話になり、居場所づくりでは、まず、加入者の方も、これから加入しようかなと考えている方も、フリースペースのような居場所をつくったらどうかという話や地域のお祭りをたくさんつくることで、子ども達を呼んだらどうかという意見も出ました。

そういう中で、お祭りの様子だったりラジオ体操の様子を動画に撮り、個人情報のことがあるため難しいかもしれませんが、YouTubeなどで様子を発信するのはどうかという意見も出ていました。

さらに、学校と共同という話も出ています。今、コミュニティ・スクールが始まっていますので、コミュニティ・スクールとの協力という話から、具体例として、函館市のクリーングリーン作戦などを利用して、町会の行事に学校として何か参加できないかと考えます。ただ、日曜日ということもあり厳しいかもしれませんが、そこは追々考えながら、参加するというのはどうかという話が出ています。

なかには、地域と学校で、災害図上訓練（ディグ）をやったらどうかという話も出ていました。学校とともに共同で取り組むことにより、多世代交流がなされるのではないかということです。

そして、子ども達というところでは、私たちが、たとえば町会を活用して実験教室や体験型の教室を開催したりなど、何か親子で参加できる教室をつくるのはどうかという話も出ていました。夏休みの作品、要は夏休みの課題を町会と一緒につくってみませんかなどという意見が出ています。

また、町会だからできるメリットということで、有名人を招待してイベントをやったらどうかとか、町会で使えるポイントをつくってみてはどうかとか、色々な話が出ています。

町会になかなか関わっていない私たちの世代にとっては、町会のハードルが高いので、ある一定期間が来たら役員を変えてという話もありましたが、なかなか現状では厳しいという意見も出ました。

その中で最後に出たのが、コロナの影響です。コロナでなければ出来るが、コロナがあるからどこまで出来るかなど。希望的観測で、こういうことは出来るなどの話をしていました。

どうしてもぶつかる部分は個人情報の問題であり、それをどうクリアしていくかという話も出ていました。Aグループの発表は以上です。

(事務局 小林主査)

ありがとうございました。

では、座長に、中締めをお願いいたします。

(菊池座長)

皆さんありがとうございます。

非常にいろんな面白い話や考えることがたくさんありましたが、大まかに分けることができるのではないかと思います。

まずは、町会の必要性やメリットに関しては、まず初めに出てくるのが防災そして防犯。それが、町会が必要とされる理由の1つでもありますし、また、地域福祉や地域の環境整備、クリーン作戦など、色々な班で出ており、そういうことが必要性なのではないかと思います。

加えて、どのような情報発信をした方が良いのかということでは、将来的にSNSはもちろん大事だが、現状として紙媒体も必要。やはり、SNSに馴染みが少ない高齢者の方も含めて、実際の紙だとすぐ見れますし、さきほどC班がお話しされていた、ITと紙媒体のハイブリットという考え方は、皆さん必要だと感じたようでした。

参加を促す仕組みづくりについても、色々意見がありました。一番大事なのは、誰でも参加できるようなイベント、参加のハードルを下げるとというのが、ポイントかなと思いました。あとは親子で参加できるイベントを企画し、子どもが参加することで親の参加や加入をうながすという意見の中で具体の例も出てきたと思います。

各グループからの発表で色々な意見がございましたので、本日の会議終了後に、大変だと思えますが、事務局の方で整理をよろしくお願いいたします。

(事務局 米田市民・男女共同参画課長)

はい。承知いたしました。

次の(2)魅力ある町会づくりについてのグループワークに移らせていただきますが、その前に1点、事務局から確認させていただきたいのですが、今、各グループワークでの皆さんの発言を拝見しておりますと、積極的に発言していただいている方の一方で、なかなか発言できていられない方もおられるようです。今日のグループワークの趣旨のひとつが、できるだけ多くの方からできるだけ多くのご意見をいただきたいと思っておりますので、皆様にもその点を少し意識していただきながらお話を進めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

それではグループワークを開始してください。

【グループワーク発表】

方向性(2)「魅力ある町会づくり」の具体的な取り組みについて

A グループ 発表者：神田委員

Aグループでは、実際の取り組みをどうしたら良いかを考えました。

まず、町会活動への参加のきっかけづくりとして、未加入世帯へのアンケート調査やリーフレットの作成、また、イベント参加のチケットを配布することや、チームをつくって交代でイベントを運営してはどうかというのもありましたし、参加のきっかけとして、町会の花火大会など、こつこつとやらなければならないというのが、私たちのきっかけづくりの考え方です。

さらに、こういうイベントに出た保護者や近隣の方のロコミが大事という話になりました。そのロコミが広がり、やがて地域の様々な団体と共同で色々なことをするきっかけとなればという話がありました。団体との共同としては、たとえば、高齢者の買い物の支援だったり、介護ボランティア、包括ケアの皆さんや介護施設の方々と連携しながら、何か特色を出していくのはどうかという意見や福祉団体と非常食の食事会を企画されているという事例も伺っており、良いアイデアだという話がありました。

様々な団体のイベント例ですが、親子参加型のイベントや、学校では給食試食会というものもやっているのですが、私たちの方では、地域の方を招待して行い、参加した高齢者の方の意見として、初めて給食を食べたと感動して泣いていらっしゃる方もいました。

また、地域の方が学生さんの食事の面倒みるおふくろ食堂というのはどうかという話も出ていました。

そのほか、七夕祭りを利用したり、コミュニティ・スクールを活用した多世代交流をしてはどうかというのもありました。

町会の意識改革としては、町会費の徴収方法を考えた方が良いというのがありました。やはり班長さんが取りに行くというのはかなりの負担なので、何か良い方法はないかという意見もありました。

また、会議の内容などの情報をデータベース化して、管理は民生委員さんがするというのはいかがでしょうかという意見もありましたが、個人情報なので同意が必要ということで、ここがネックになるというのがあります。

また、人材バンクですが、やはりマンパワーが必要なので、ボランティアの組織づくりであったり、マイナポイントをみんなで申請してみようなど、色々な人を活用するための人材バンクをつくってはどうかという意見もありました。以上です。

(事務局 小林主査)

ありがとうございました。

それでは、Bグループの発表に移らせていただきます。

B班で話し合った結果で1番のポイントとなったのが、参加へのきっかけというのはこの前の提案の中でもなかったということで、1番重要なところは、居場所づくりをしていかなければならないのではないかと。子どものための居場所づくりが必要であり、これまでに他町会に子どもが参加したいといった時に親が拒否してしまったりすることがあったそうなので、開かれた居場所をつくるというのが1番のポイントではないかと考えました。

それに関して、まず、資金が1番重要ではないか。市からの助成や資金をつくるための取り組みとして、企業に賛助金をお願いするなど、たとえば町会独自でバザーなどを企画して、運営資金をつくっていく、というところがうちの班から出た取り組みの1つです。

そして、キーパーソンの発掘ということで、先ほどの意見の中にもあり、前の班でも人材バンクとありましたが、専門的な分野で活躍されている方に、この町会のイベントなどで活躍していただくというのが重要ではないかと考えます。そのキーパーソンを見つけるためにも、日常的な関係づくり・コミュニケーションが必要なのではないかと。そのために、新聞や口コミというのが重要になってくるのではないかとという話が出ました。キーパーソンからの広がりや、色々な居場所をつくっていく、というように考えました。

また、地域の連携というところでは、地域の中で資金のために協力してくれる賛助企業を探す、ITを使用できる会社などに協力してもらい、高齢者などにスマートフォンの機能などを教えられる取り組みをしていく、イベントなどに賛助してくれる企業を探す。また、民生委員などの色々な委員をもっと活用して、町会の活動に役立ててほしいという意見がありました。

もう1つあった意見が、包括支援センターの見える化ということで、どういう取り組みをしているのか、どういうことをしてほしいかというのを、もっと近づいて仕事をしていければという話がありました。

他に重要なところとしては、大学・高校との連携、学生と高齢者だったり、そういうところで地域の連携を図っていくということです。

さらに、町会の意識改革。役員の若返りや高齢化していく中で、町会費の徴収の見直しですとか、会則の変更をして今の古い町会の意識を改革していくことが、この取り組みを全体的に進めていくために重要なことではないかという意見がありました。

そして、活動をしていって、役員が楽しめるものでなければなかなか長続きしないということで、そういうところを改革していくことが重要ではないかという意見がありました。

B班からは以上です。

(事務局 小林主査)

ありがとうございます。

先ほどのAグループと合わせて、質疑がありましたら、お願いします。

無いようなので、Cグループの発表に移ります。

今回魅力ある町会づくりということで、まず私たちのなかで出たのが、第三者の意見を聞くことがとても大事であり、特に若い人の意見というのはこれからの時代は、すごく大事なのではないかとということが話し合われました。

今回具体的な例がたくさん出ましたので、それについて発表させていただきたいと思います。

まず、この7つの提案に対して、1つずつ話をさせていただきます。

外部に関しては、町会に未加入の方の意見を聞く。そして、コンサルタントは費用の無駄遣いになるのでやめた方がいい。全ての町会活動に対してそうなのですが、まず、町会の活動に対しては、出来るだけお金を発生させないことが大事ではないかという意見がありました。

また、子育て世代に関しては、町会でメルカリやジモティを使って、必要なものを町会の中で売るなど、若い人たちを対象としたバザー的なことをやることで、興味をもってもらうことも必要ではないかと考えました。

町会活動のきっかけとして、海老で鯛を釣るではないですが、物を与えるということはとても大事で、ポイント制を町会で取り入れ、たとえば、町会の会員証を胸にさげて、何か買い物に行ったときに、地域で私は会員だというと、たとえばローソンさんでポイントがもらえるだとか、そういう風にしていくと町会の加入にもつながるのではないかと思い、そういう面も、これからの活動に対しては必要だと考えました。

あと、大事なのは、団体との連携ということで、私たちのグループに理学療法士さんがいるのですが、各地域の町会で老人の方に必要な知識や技術について理学療法士さんなどを呼んで、活動をしていくということが、町会の魅力に繋がるという話も出ました。

また、意識改革のなかでは、町会にとって名簿の作成がとても大事だという意識を再確認する必要があると考えました。

情報発信の面では、紙媒体というのも必要なのですが、それに期限をつけて、徐々にSNSに移行していただくとか、そういう方向に変えていくために、期限を決める必要があると考えました。

また、YouTubeなどは、学生さんに制作依頼をして、若い人達の知恵や力を借りるということも大事だということも考えました。

加入促進については、出来たら町会で市長さんがダンスをするとか、部長さんがショートコントをするとか、ミニドラマをつくってもらうとか、函館市をあげて、面白い加入促進についての情報発信をぜひ考えていただきたいという意見が出ました。以上です。

(事務局 小林主査)

ありがとうございました。何か質問はございますでしょうか。

皆様お疲れ様でした。

それでは、最後に座長から全体を通してまとめをお願いします。

(菊池座長)

皆さんお疲れ様でした。

色々お話をされてお疲れだと思いますので、短めにさせていただきます。

皆さんから、自発的な参加の意識づくり、魅力ある町会づくりの様々なご意見やアイデアがたくさん出て、私も非常に勉強になりました。

やはり、町会が求められる、もしくは必要とされるベースとなる活動は、既にしっかりとされていらっしゃると思いますので、それをどうアピールするか、どの様に理解をしてもらうかということが重要であると感じました。

たとえば防犯・防災の活動というのは、皆様からご意見が出されていたと思いますが、それをどのように行っていくかということであったり、地域連携や地域福祉など、地域内での関わり方をどうしていくのかということのも大事なキーワードだったと思います。

今、with コロナということで、オンラインで町会をしていくという話もあって非常に興味深いと感じました。

また、誰でも参加できるイベントであったり、後半の魅力ある町会づくりの発表にもありましたように、海老で鯛を釣るではないですが、お子さんが参加できるようなイベントを用意して、大人がついてきて、人間関係の原点、人と人との関わり、日常的な関わり方を大事にすることで、そこから口コミが広まり参加が増えるのではないかという話もありました。

また、地域資源として最もあげられていたのは人材だったと思います。人材を育てるための居場所づくりもどのようにしたらいいのか、色々なアイデアが出たと思います。

色々な意見が出ましたので、私の方でまとめるというのは、なかなか難しいですが、これを優秀な事務局の方で、まとめていただけたと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

(事務局 米田市民・男女共同参画課長)

ありがとうございました。

皆様から数多くの貴重なご意見いただきました。どうもありがとうございました。

皆様から出していただいたご意見につきましては、素案づくりの参考とさせていただきます。

(事務局 小林主査)

それでは、最後に、市民部長の佐藤からご挨拶申し上げます。

(事務局 佐藤部長)

皆様お疲れ様でした。

また、ファシリテーター役の皆様、本当にお疲れ様でした。

私どもも町会の活性化に向けてどのような取り組みを実際に行っていけばいいのか、ということで具体的なアイデアですとか、提案・意見も含めて、たくさんのご意見をいただきたい

など思っておりました。

その意見の中からどれを取捨選択するかということではなく、その意見からヒントをもらって、実効性が高い、効果があるような取り組みを少しでも早く着手して行きたいと考えてございます。

なかには市長のダンスや私のショートコントというご意見もございまして、町会に参加するにあたっての訴求力といいましょうか、それぞれの対象によって訴求するワードは違うのだらうと思っておりましたので、これも1つ参考にさせていただきながら、取り組みを進めていけるようにまとめていきたいと思えます。本当に、本日はお疲れ様でした。ありがとうございました。

..... 3 その他

(事務局 小林主査)

それでは、座長には、引き続き、進行をお願いいたします。

(菊池座長)

それでは、「次第の4 その他」について、委員の皆様から何かありますでしょうか。なければ事務局からお願いいたします。

(事務局 米田市民・男女共同参画課長)

それでは、事務局から連絡事項をお伝えいたします。

次回会議の開催予定ですが、お配りしております日程調整表にありますとおり、10月26日、27日、28日、30日までの4日間の候補日の中から、委員の皆様の出席が1番多く見込まれる日とさせていただきます。

この日程調整表を事務局宛てファックスやメールでの回答をお願いいたします。

メールアドレスのある方は、後ほど日程調整表のデータを送信させていただきます。

回答の締切りは、日程調整表に記載しておりますとおり10月5日までとさせていただきます。事務局からは以上です。

(菊池座長)

ありがとうございます。

ただいまの連絡事項に対して何かご質問はありますでしょうか。

何もないようでしたら、以上で終了とし、事務局に進行をお返しします。

..... 4 閉 会

(事務局 小林主査)

それでは、これをもちまして、第4回函館市町会活性化検討会議を終了とさせていただきます。本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

取り組みの方向性

(1) 自発的な参加の意識づくり

町会の必要性やメリット	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯といった治安の維持（防犯パトロール，登下校の見守り活動，街路灯の維持，詐欺などの事例情報） ○防災といった地域の安全（災害時の助け合い，的確な情報，備蓄品の確保） ○地域福祉（高齢者の見守り） ○環境整備（市への要望活動，清掃活動） ○親睦活動（イベントの実施，サークル活動，地域連携，交流拠点，繋がり，絆の醸成） ○教育活動（子どもの学びの場） ○行政との関わり（陳情要望，行政では補えない細かな対応） ○共助の中心（困った時の助け合い，相談役）
具体の発信方法について	<ul style="list-style-type: none"> ○直接的な声掛け，SNS以外の紙媒体としての新聞も重要 ○町会ホームページのまとめサイト（町会連合会のホームページ） ○情報発信は，ペーパーレス化と紙媒体を上手に使う（ハイブリット）
主体的な参加の意識づくりの具体的な取り組みなどについて	<ul style="list-style-type: none"> ○各種イベント（週一など短時間で継続的なもの，有名人の招待，不用品の回収，日曜イベント，餅つき，豆まき，お祝い事） ○オンライン町会イベント（学生，子ども，高齢者による参画） ○キーパーソンの発掘（地域での色々な資格を持った人材バンク） ○町外に発信するための地域の特色を作り出す（町会同士の我がまち自慢） ○活動の結果を最後にしっかり情報発信する ○町会川柳や標語の募集（参加意識が高まると同時に町会の周知につながる） ○若い世代に役割を持たせるため情報発信や運営スタッフの役割で参加をお願いする ○読書や勉強，遊び場，ティールームなどが出来るフリースペースのような居場所づくり（加入，未加入を問わない） ○お祭りやラジオ体操といった町会活動の様子を発信（youtubeなど） ○コミュニティ・スクールとの共同による町会活動への参加により多世代交流を図る（クリーングリーン作戦や災害図上訓練など） ○親子参加型の体験教室の開催（実験教室や夏休みの自由研究など） ○町会で使えるポイント制度の導入 ○体制が整えば役員の交代制 【その他，各委員が持ち寄った提案】 ○居場所づくりIT化の推進（Wi-Fiの設置など） ○習い事場所（子供が参加しやすい料理教室，茶道や華道が体験できる教室） ○学校の先生の紹介など教育現場の情報を提供（学校のお便りの配付） ○町会費の使われ方や街路灯，会員数の推移の周知 ○防災グッズの紹介など防災関連の最新情報や地域限定情報を発信 ○気軽に参加できるサークル活動 ○市役所など公共機関による出前講座

<p>外部ノウハウの活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○人材バンクの仕組みづくり ○地域で専門知識のあるキーパーソンを発掘 <p>【その他、各委員が持ち寄った提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な団体による講習
<p>子育て世代が参加しやすい仕組みづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○メルカリ・ジモティーを活用し、若い人対象のバザーの実施 <p>【その他、各委員が持ち寄った提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育所、小学校、中学校の作品を展示
<p>町会活動への参加のきっかけづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○未加入世帯へのアンケート調査の実施 ○イベント参加のチケットを配りプレミアム感を出す ○特定の人に偏らないようにチームによる交代でのイベント運営 ○ボランティア組織づくり ○マイナカード、マイナポイントの申請手続き ○子どもの居場所づくり（SNS講習会など 運営資金の確保が必要） ○企業参加のきっかけとして賛助金の協力 ○町会会員証の発行によるポイント制の導入（地域でのお買い物ものポイントを活用） <p>【その他、各委員が持ち寄った提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町会による花火大会の実施 ○町会版ふるさと納税の実施による町会への応援隊を作る ○富くじ（町会費の再配分） ○参加スタッフへの報酬（現金、ギフト券、スタバカード若い世代にとって実用的なもの）

<p>地域内の様々な団体との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者への買い物支援 ○イベント連携として、福祉団体による非常食の食事会、七夕まつり、給食試食会の実施 ○学生向けのおふくろ食堂の実施 ○コミュニティ・スクールと連携し多世代交流を図る ○学生、企業、専門家との連携（IT・スマホ教室や医療関係者による健康教室や福祉関係者による介護支援など） ○包括支援センターの見える化を図るため、もっとお互いに身近で仕事をする <p>【その他、各委員が持ち寄った提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども食堂等で虐待の早期発見 ○コミュニティ・スクールと連携し、交通安全指導や不審者対応などの活動実施 ○コミュニティ・スクールによるボランティア組織づくり ○大学の地域プロジェクトによる連携や「ちょボラ」の派遣
<p>幅広い世代に向けての情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○町会員による口コミを効果的に利用 ○徐々に紙媒体からSNSへの移行を促す（紙媒体に期限をつける） ○学生など若い世代によるyoutube動画などの作成と発信
<p>町会自身の意識改革</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○会員名簿や町会会議などをデータベース化して管理 ○会則の変更や若い人の意見に耳を傾け意識を変化させる <p>【その他、各委員が持ち寄った提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他都市の成功事例を参考にする
<p>勧誘方法の工夫などによる加入促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○バザーなどの交流の場を作り会場で加入促進 ○とにかく面白い興味を持たせる情報発信（市長、部長ダンスやショートコント、ミニドラマなど） <p>【その他、各委員が持ち寄った提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市窓口による町会の説明と勧誘（完結まで）